

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成30年4月19日 (2018.4.19)

【公開番号】特開2016-166786(P2016-166786A)
 【公開日】平成28年9月15日 (2016.9.15)
 【年通号数】公開・登録公報2016-055
 【出願番号】特願2015-46364(P2015-46364)
 【国際特許分類】

G 0 4 C 9/00 (2006.01)

G 0 4 G 99/00 (2010.01)

G 0 4 C 3/00 (2006.01)

【F I】

G 0 4 C 9/00 Z

G 0 4 G 1/00 3 1 3

G 0 4 C 3/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月8日 (2018.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 時刻を表示する第 1 指針と、

第 2 時刻を表示し、前記第 1 指針とは位置が異なる第 2 指針と、

前記第 1 指針および前記第 2 指針とは位置が異なる指示針と、

操作部と、

前記操作部の操作に基づいて、前記第 1 時刻を修正する第 1 時刻修正モードまたは前記第 2 時刻を修正する第 2 時刻修正モードを設定するモード設定部と、

前記第 1 時刻修正モードが設定された場合、前記指示針に前記第 2 指針とは異なる位置を指示させ、前記第 2 時刻修正モードが設定された場合、前記指示針に前記第 2 指針を指示させる表示制御部と、を備える

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の電子機器において、

前記指示針は、前記第 1 時刻に対応するカレンダー情報を表示可能に設けられ、

前記表示制御部は、前記第 1 時刻修正モードが設定された場合、前記指示針に前記カレンダー情報を表示させる

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の電子機器において、

文字板を備え、

前記第 1 指針の回転軸は、前記文字板の平面中心に位置し、前記第 2 指針の回転軸は、前記文字板の平面中心から外周方向にずれて位置している

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の電子機器において、

前記第 1 時刻修正モードが設定された状態で、前記操作部のタイムゾーン修正操作が行われると、前記第 1 時刻のタイムゾーンデータを修正し、前記第 2 時刻修正モードが設定された状態で、前記操作部のタイムゾーン修正操作が行われると、前記第 2 時刻のタイムゾーンデータを修正するタイムゾーン設定部と、

修正された前記第 1 時刻のタイムゾーンデータに基づいて前記第 1 時刻を修正し、修正された前記第 2 時刻のタイムゾーンデータに基づいて前記第 2 時刻を修正する時刻修正部と、を備える

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の電子機器において、

第 3 指針を備え、

前記表示制御部は、前記第 1 時刻修正モードが設定された場合、前記第 1 時刻のタイムゾーンデータを前記第 3 指針に指示させ、前記第 2 時刻修正モードが設定された場合、前記第 2 時刻のタイムゾーンデータを前記第 3 指針に指示させる

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項に記載の電子機器において、

前記第 1 指針は、第 1 時針と第 1 分針を備え、

前記第 2 指針は、第 2 時針と第 2 分針を備え、

前記表示制御部は、前記第 1 時刻修正モードまたは前記第 2 時刻修正モードが設定された場合、前記第 1 時針、前記第 1 分針、前記第 2 時針、前記第 2 分針を継続して運針させる

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 6 のいずれか一項に記載の電子機器において、

前記表示制御部は、前記指示針に前記第 2 指針を指示させた後、予め設定された指示時間が経過すると、前記指示針に前記第 2 指針とは異なる位置を指示させる

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 8】

請求項 1 から請求項 7 のいずれか一項に記載の電子機器において、

前記表示制御部は、前記指示針に前記第 2 指針を指示させた状態で、前記操作部の指示終了操作が行われると、前記指示針に前記第 2 指針とは異なる位置を指示させる

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 9】

請求項 1 から請求項 8 のいずれか一項に記載の電子機器において、

前記表示制御部が前記指示針に前記第 2 指針を指示させる際、前記指示針の回転軸から指示方向に伸びる直線が、前記第 2 指針の先端が描く円と交差する範囲の所定位置を指示させる

ことを特徴とする電子機器。

【請求項 10】

第 1 時刻を表示する第 1 指針と、第 2 時刻を表示し、前記第 1 指針とは位置が異なる第 2 指針と、前記第 1 指針および前記第 2 指針とは位置が異なる指示針と、操作部と、を備える電子機器の時刻修正方法であって、

前記操作部の操作に基づいて、前記第 1 時刻を修正する第 1 時刻修正モードまたは前記第 2 時刻を修正する第 2 時刻修正モードを設定し、

前記第 1 時刻修正モードを設定した場合、前記指示針に前記第 2 指針とは異なる位置を指示させ、前記第 2 時刻修正モードを設定した場合、前記指示針に前記第 2 指針を指示させる

ことを特徴とする時刻修正方法。

【請求項 11】

第 1 時刻を表示する第 1 指針と、第 2 時刻を表示し、前記第 1 指針とは位置が異なる第 2 指針と、前記第 1 指針および前記第 2 指針とは位置が異なる指示針と、操作部と、を備える電子機器に実行させる時刻修正プログラムであって、

前記操作部の操作に基づいて、前記第 1 時刻を修正する第 1 時刻修正モードまたは前記第 2 時刻を修正する第 2 時刻修正モードを設定し、

前記第 1 時刻修正モードを設定した場合、前記指示針に前記第 2 指針とは異なる位置を指示させ、前記第 2 時刻修正モードを設定した場合、前記指示針に前記第 2 指針を指示させる

ことを特徴とする時刻修正プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】

